



「 きれいと光るまちの人 **SMILE UP!** ↑ 」

Vol.5 **五十嵐 奨** さん
IGARASHI SUSUMU

地域を元気にする農業の担い手

市北西部に位置する福田地区で野菜の栽培に取り組んで約7年目。農業の担い手の中心が70代から80代を占める地域で、地域農業を支える大きな力となっている。

大学在学中から卒業後の20代半ばまで、お金をためてはインドやチベットなどを旅し、その後は東京や福岡でサラリーマン生活を経験。実家は農家ではないが、いつかは農業をしたいという気持ちが漠然とあり、40歳を目前に帰郷した後、宇部市楠の「万農塾」で農業の基礎を学んだ。父章彦さんが同級生の農家を紹介してくれたことがきっかけで福田地区で就農し、現在はトウモロコシを中心に露地野菜や水稲など、約2ヘクタールの農地で農業を営む。福田営農組合の田植えや稲刈りにも参加し、代わりに自身が野菜の収穫等で忙しい時期は、地元の農家の人が手伝いをしてくれるなど、互いに協力し合う関係だ。「福田の良さは、水がきれいいて人が優しいこと」。人に支えられているとの思いで、人との繋がりを何より大切にしている。

初夏からの収穫に向けて、現在はトウモロコシ栽培の真っ只中。ハウス栽培と露地栽培を合わせ約1ヘクタールの土地にトウモロコシを作付けする。「トウモロコシの魅力は生育が“素直”なところ。梅雨が開けて日差しが降り注ぐと一気に糖度が上がる。気象条件が整ったときに味がおいしくなるように健全な株を作ることが大事です」

今はトウモロコシに夢中、と語る。「おいしいと喜んでもらえたときが一番うれしいですね。一番おいしい時期に向けて、たくさん作れたら」。トウモロコシに対する愛情と真っ直ぐな姿勢が言葉ににじむ。

Profile・ 殖生出身。山陽小野田市農業委員として3年目。鳥取大学農学部卒。大学では小麦の育種を専門に学んだ。宇部市と山陽小野田市の若手農家5軒による野菜販売グループ「toppin」や地域おこしグループ「殖生てる」のメンバーとして、新鮮な野菜を消費者に届けるための活動もしている。



▲ toppin の野菜販売



▲ トウモロコシの苗

えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん
①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係 (☎82-1148)



おきもと ひより
沖本 日和ちゃん (6か月)
いつも癒しの笑顔をありがとう



やまもと ひなの りゅうのすけ
山本 陽菜乃ちゃん(4か月)・琉之介くん(2歳)
仲良し兄妹になってね☆ピース!

